

令和4年度第1回
「文化財のみかた連続講座」
令和4年7月18日

三角縁神獣鏡の みかた

◆クイズはどうでした？

うつりかわりを見るコツがある

◆技術の発達

◆単純なものから複雑なものへ

◆複雑なものから単純なものへ

三角縁神獣鏡の場合

◆ 文様の手抜き

◆ 内区の構成

※四神四獣→三神三獣

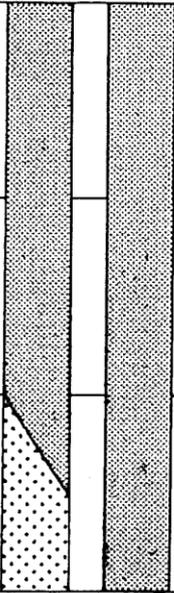
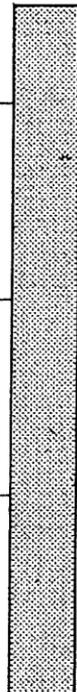
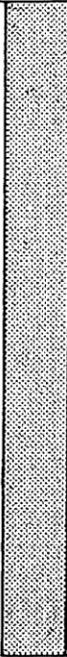
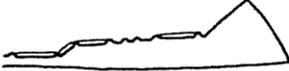
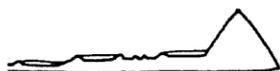
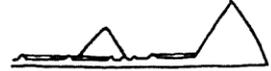
◆ つくりの精巧さ

※精巧な三神三獣→粗い三神三獣

◆材質

※錫が多い→少ない

◆鏡の厚さ

段階	外区	傘松形	銘帯・文様帯				主な同範鏡		
1	 I	 1		獣文帯 2		唐草文帯  1	波文帯 	5, 6 15, 17 20, 36	
2		 2		獣文帯 3				 2	4, 11, 13 14, 16, 18 21, 35, 42
3		 3		銘帯				獣文帯 1	 3
4	 II						41, 52 53, 55 60, 61		
5	 III	(本図で使用した細部の図は すべて模式図である)				 4	101~		

文献⑤を引用

松阪市久保古墳出土鏡



文献⑮より引用

位置づけが難しかった鏡



文献⑦より引用

神獣が多い



文献⑦より引用

神獣についてよく観察

- ◆再び神獣について
詳しくみてみましょう

男性の神(東王父)



文献④より引用

女性の神(西王母)



文献④より引用

!!! 東王父？西王母？ !?



文献⑦より引用

◆東王父と西王母

→画文帯神獸鏡などに関連か？

◆東王父と西王母が混じった神の表現

→神々のもつ役割・意味が失われつつある

画文帯神獣鏡とは？



文献⑨より引用



文献⑨より引用

内区は神と獣



文献⑨より引用

東王父



文献⑨より引用

西王母 西の果て崑崙山に住む



文献⑨より引用

三神でヤシト



文献⑨より引用

琴の名手
伯牙



文献⑨より引用

良き理解者

鐘子期



文献⑨より引用

先生の成連



文献⑨より引用

琴の音色、音楽で
陰陽を調和する



文献⑨より引用

長寿の神
黄帝

◆中央が黄帝



文献⑨より引用

画文帯神獣鏡とは

- ◆西王母と東王父による陰陽の力で
宇宙の動きが活発化
 - ◆龍と虎によってその宇宙は守護される
 - ◆音楽によって陰陽を調和
 - ◆人間の長寿を願う
- 当時の中国の世界観が表現されている

久保古墳と同範鏡



文献⑦より引用

琴の名手
伯牙ほか



文献⑦より引用

東王父



文献⑦より引用

長寿の神
黄帝



文献⑦より引用

西王母



文献⑦より引用

文献⑥より引用

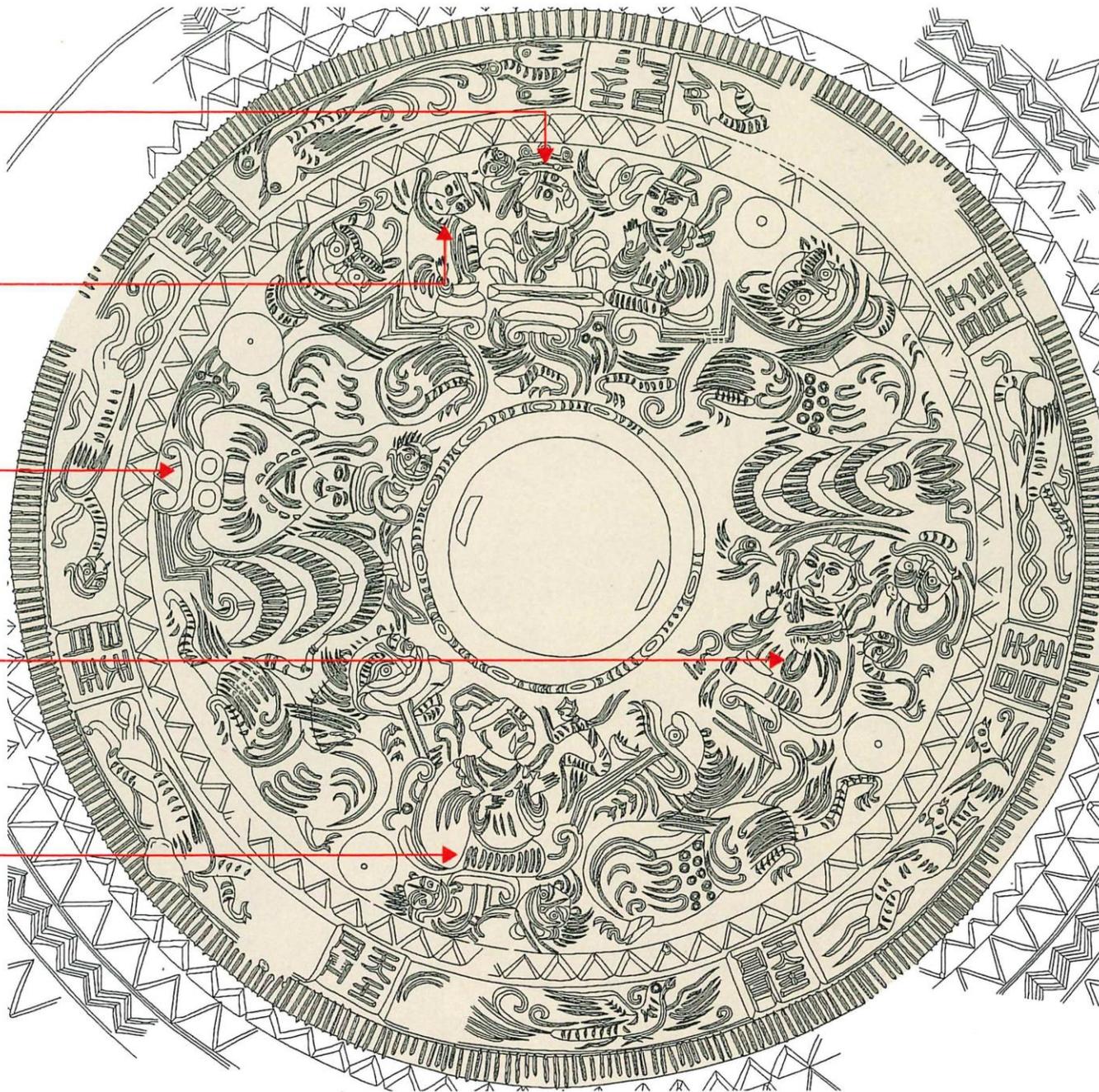
伯牙

鐘子期

西王母

東王父

黄帝



画文帯神獣鏡から三角縁神獣鏡へ

- ①画文帯神獣鏡の内区文様を借用
 - ②外区を鋸歯文—複線波文—鋸文に
 - ③縁を三角形に
- ①→②→③で三角縁神獣鏡へ

正始元年銘の
三角縁神獸鏡



文献⑦より引用

三角縁神獣鏡のモデルは

- ◆ 画文帯神獣鏡
- ◆ 斜縁神獣鏡
- ◆ 画像鏡

などの複数種類

※いずれも同じような変化をたどる

※モデルに忠実なものほど初期の作品

◆ 龍・虎の背に乗っていた神

→ 小さい、表現が複雑

◆ 背から下ろした神は、

→ 大きい、美しく表現できる

◆ 配置を変えることで多くの種類を製作

三角縁神獣鏡の特徴

◆ 舶載三角縁神獣鏡400面

仿製三角縁神獣鏡100面

⇒ 多量生産

◆ 個々の図像の美しさは求めた

しかし、鏡に描かれた世界観や思想が捨てられた

方格規矩鏡の世界観



文献⑳より引用

大量生産のわけ

- ◆三角縁神獣鏡は世界観の捨てられた鏡
- ◆幾何学的な美しさ
- ◆神・獣の組み合わせによって多様な種類を生み出した

三角縁神獸鏡の製作地

◆銘文が手がかりに

銘文は、「製作者」「鏡の出来のよさ」

「文様の内容」「神仙の生活」「鏡をもつことで得られる長寿・子孫繁栄などの効能」

などの内容からなる

◆ 作者は、陳氏、張氏、王氏、顔氏など

ユリノ銘文？



文献⑩より引用



銅出徐州 師出洛陽



文献⑦より引用

舶載説の根拠

- ◆ 徐州と洛陽の地名が同時に使われていたのは魏・晋の時代に限られる
- ◆ 「師」は、晋の祖 司馬師のいみなどで、晋では使用を避けていた
- ◆ 景初3年(239)、正始元年(240)の魏の年号

◆徐州は、今の山東省南部から江蘇省北部

→滕州(とうしゅう)に銅の精錬遺跡

◆顔氏は、山東省南部の名族



文献⑥より引用

愛知県東之宮古墳の鏡



滕州出土の鏡に類似

文献②①より引用

しかし！！！！

国産説の根拠

◆中国では三角縁神獣鏡が出土していない

→日本に渡来した工人が製作か？

卑弥呼との関係は

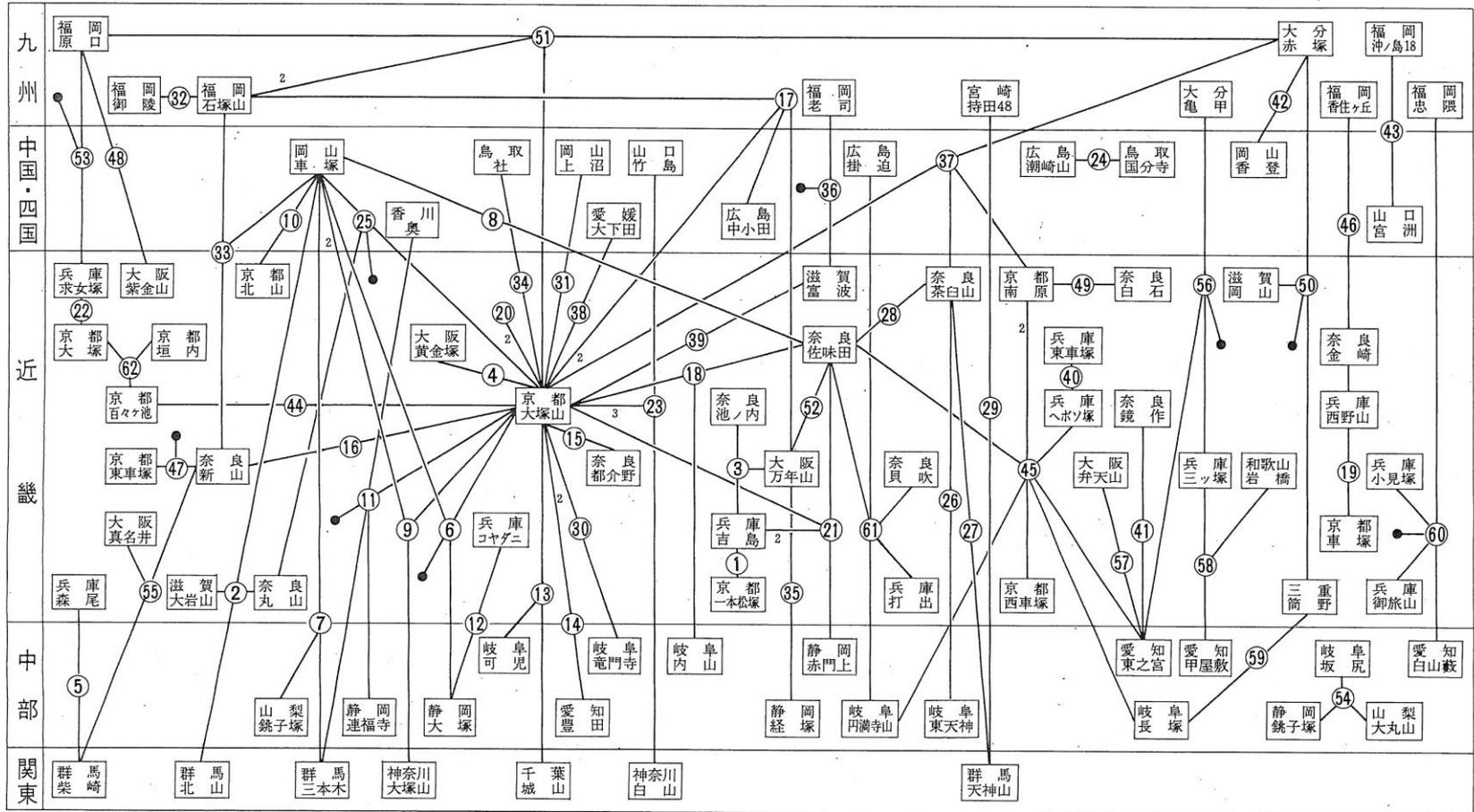
◆景初3年(239)

→卑弥呼がはじめて魏に使いを送った
※この年前後に三角縁神獣鏡完成？

◆正始元年(240)

→使者が帰国して「親魏倭王」に冊封されたことを伝えた記念の年

同範鏡の分有関係



1 中国製三角縁神獸鏡の同範鏡の分有関係

(昭和50年10月作成)

文献②②より引用

三角縁神獣鏡のもつ意味

- ◆クニとしてひとつにまとまるために使われた政治的シンボル
- ※この点が最も重視すべき点

おわり

【参考文献】

- 文献① 岩本崇 2020『三角縁神獣鏡と古墳時代の社会』六一書房
- 文献② 大阪府立近つ飛鳥博物館 1995『鏡の時代』
- 文献③ 岡村秀典 1999『三角縁神獣鏡の時代』吉川弘文館
- 文献④ 京都大学文学部考古学研究室 1989『椿井大塚山古墳と三角縁神獣鏡』
- 文献⑤ 『権現山51号墳』刊行会 1991『権現山51号墳』
- 文献⑥ 東京新聞 2000『大古墳展－ヤマト王権と古墳の鏡－』
- 文献⑦ 奈良県立橿原考古学研究所 2005『三次元デジタル・アーカイブを活用した古鏡の総合的研究』
- 文献⑧ 奈良県立橿原考古学研究所 2008『下池山古墳の研究』
- 文献⑨ 奈良県立橿原考古学研究所 2008『ホケノ山古墳の研究』
- 文献⑩ 奈良県立橿原考古学研究所編 1999『黒塚古墳調査概報』学生社
- 文献⑪ 奈良県立橿原考古学研究所編 2018『黒塚古墳の研究』八木書店

- 文献⑫ 樋口隆康 1979 『古鏡』 新潮社
- 文献⑬ 福永伸哉 2005 『三角縁神獸鏡の研究』 大阪大学出版会
- 文献⑭ 福永伸哉ほか 2001 『シンポジウム三角縁神獸鏡』 学生社
- 文献⑮ 三重県埋蔵文化財センター 1991 『三重の古鏡』
- 文献⑯ 八日市市教育委員会 1996 『雪野山古墳の研究』
- 文献⑰ 高槻市教育委員会 2000 『安満宮山古墳』
- 文献⑱ 湖北省博物館・鄂州市博物館編 1987 『鄂城漢三国六朝銅鏡』 文物出版社・古代学研究会
- 文献⑲ 上海書畫出版社 1987 『上海博物館蔵青銅鏡』
- 文献⑳ 浙江省博物館編 2012 『古鏡今照』 文物出版社
- 文献㉑ 犬山市教育委員会 2014 『史跡東之宮古墳』
- 文献㉒ 小林行雄 1976 『古墳文化論考』 平凡社